

112 学年度第一学期ユーラシア財団 (from Asia) 国際講座
「アジア共同体：東アジア学の構築と変容」シリーズ講座 (7)
テーマ：東アジアにおける社会的包摂
—ジェンダーと移民の交差点—
(海を渡る女性たちの物語)

池 直美 教授 (第七講座 / 要約)

2023.10.26

はじめに

国連 (UN) で2015年に採択された持続可能な開発目標 (SDGs) は、現在、世界中で採用されています。しかし、このような成り行きにもかかわらず、移民とジェンダーに関する国際社会の分岐は、世界の多くの地域でますます明確になっています。移民に関しては、2015年から2016年にかけてのヨーロッパ移民危機の後、西洋諸国では排外的な感情がますます高まり、英国のEU離脱の原因の1つにもなりました。

今回の講義は、東アジアの日本と韓国に焦点を当て、国際結婚移民における日本と韓国の伝統的なジェンダー観、ケア労働者や「北朝鮮脱出者 (以下、脱北者)」に対する差別などの問題について議論し、ジェンダー分業が国際結婚と福祉 (介護) 政策に与える影響、女性の人権に関連する問題などを分析します。

1. 結婚移民 (ジェンダー)

戦前から朝鮮半島へ移住した日本人、戦前および戦後に日本で生活している韓国人、そして「脱北者」に関して、現在、日本と韓国における移民の女性化の特徴が顕著に現れています。池教授は具体的な例を挙げて分析し、急速に増加している東アジア諸国からの移民が日本や韓国に移住する際に、技能実習制度や入国管理局に関する問題についても指摘しています。現在もジェンダー差別 (特に給与、正規雇用と非正規雇用、家庭関係など) が依然として存在し、家事の分担や育児においても不平等な問題が非常に顕著です。

2. ケア労働者

人口の高齢化が進む中、介護分野の労働力、特に「愛の労働」とされる労働力が減少しつつあります。都市化と人口減少により、労働力などの不足が生じ、配偶者不足地域において「婚姻移民」の問題が発生し、日本と韓国では外国の婚姻移民とケア労働者の受け入れが増加しています。しかし、政府に一貫した政策が欠如しているため、海外からの婚姻移民や外国籍の介護者はさまざまな課題に直面しています。女性は一貫して家計を支え、家庭の世話をする責任を負っており、さまざまな形で参加しています。「脱北者」も同じ難題に直面しており、彼らは依然として社会から排除され、隅に追いやられています。日本と韓国の政府が公平かつ適切な制度を策定しなければ、外国人との摩擦が今後も続けて拡大しかねます。したがって、この講義ではこれらの3つの課題に対する解決策と対策を提案しました。

徐興慶 整理

陳順益 日本語訳

2023. 11. 04